

稲吟OB会会報

No. 46



吟 在早稻田
早稻田大学稲吟OB会

稲吟OB会のNo.46号をお届けします。

昨年度に引続き新型コロナウイルスによる影響でOB会・現役諸行事が全て中止となっております。

本号では、稲吟会を取り巻く状況及び会員からの便りをお届けいたします。

■目次■

News Flash

稲吟会と早稲田大学の状況 OB会長 松村哲郎..... 1

2021 年度実施報告

2021 年度稲吟OB会定例総会報告 3

現役の状況について OB会現役担当 本号(旧姓 西)奈津希 6

会員からの便り

「コロナ禍に寄せて」本号(旧姓 西)奈津希(平成 29 年卒会) 8

「麗しの島 台湾だより」如意宗司(昭和 53 年卒会) 9

現役報告

第 66 代執行部のご紹介 11

「幹事長としての取り組み」第 66 代執行部幹事長 浅野夏那 11

事務局よりの連絡

会員動向・新会員 13

住所の変更がある場合は事務局まで連絡願います 14

訃報 14

年会費の納入にご協力ください 14

OB会行事への参加申し込み方法について 15

■表紙解説

正門側から大隈講堂を望む

■裏表紙解説

南門からの光景

稲吟会と早稲田大学の状況



稲吟 OB 会会長
松村哲郎

皆さん、 こんにちは。

どのようにお過ごしでしょうか。

私自身は「コロナ疲れ」というのでしょうか。「マスクの生活」が時々、辛く感じる事があります。

稲吟会ですが、今年はT w i t t e rや公式L I N Eを通じて8名の新入生から連絡があり、そのうち2名が入会してくれたそうです。

その話を聞いて「ホッ」とした気持ちになりました。

新入生を勧誘するための新歓活動は、緊急事態宣言が出されていたため、4/1～4/4 までオンライン形式での開催となりました。

「早稲田大学新歓公式サイト」とより、サークル情報の発信・パフォーマンスや企画等の配信が行われました。

3 月には、現役担当の西奈津希さん（平成 29 卒）と現役執行部の浅野夏那幹事長と畠山未来副幹事長の3名でZ o o mを使つての意見交換を行いました。

今後のコロナ感染の状況次第ですが、現役執行部は発表会について、オンライン配信でも開催したい意向を持っているようです。

大学では、新学期（4 月）から対面授業を開始しました。

緊急事態宣言再延長後も対面授業を継続しています。

その理由と背景には次のようなものがあります。

- ◇ 授業で使用するすべての教室において、1 人当たり 1 時間に 30 立方メートルの換気ができるよう、7 億 5 千万円かけて空調設備を整備しました。
- ◇ 大人数の講義ではなく、実験やゼミなど対面での授業が必須の科目を中心に安全に配慮しながら教室収容定員の半分以下で対面授業を実施しています。

◇ 4月の対面授業開始以来、教室内での感染はありません。

◇ 学内では感染拡大の兆候が見られていません。

◇ PCR検査により、学生・教職員の感染状況のモニタリングを開始し、無症状でも感染者数が増加すれば直ちに適切な対応を打てるようにしています。

PCR検査については、新聞・ニュースでも報道されましたが5/20より毎週火曜日、水曜日、木曜日に4つのキャンパス（早稲田、戸山、西早稲田、所沢）で実施しています。

大学における新型コロナウイルス感染者発生状況の累計については、早稲田大学のホームページに載っています。

7/1現在 学生（377）教職員（23）研究員（2）大学関係者（1）の感染者数は累計で403名です。うち、療養中の人は19名と出ています。

サークル活動については、段階的に再開されています。

「練習」活動やそれに伴う学生会館等の施設利用は制限付きではありますが利用可能となりました。

ただし、マスクの着用、手指の消毒、黙食の徹底が求められています。

学内外での懇親会、飲み会、打ち上げ等（サークル会員の自主的な集りによるコンパ等）は禁止されています。

詳しい内容については、早稲田大学のホームページに載っています。

時間があるときに見ていただければと思います。

「新型コロナウイルス」は私達OB・OGも学生も初めての経験です。

明るいニュースはなかなかありませんが、御自身が出来る感染対策をしてお過ごし下さい。

気兼ねなくお会い出来る日が来ますことを願っております。

以上

【新宿ライオンでの現役との交流会中止について】

稲吟OB会行事につきましては本年度も全て中止することと致しました。

つきましては、現役との交流会につきましても残念ながら中止とさせていただきます。

会員の皆様のご理解を宜しくお願い致します。

（稲吟OB会事務局）

2021 年度稲吟OB会定例総会報告

稲吟OB会ホームページ及びFacebook（【公式】稲吟OB会コミュニティ）にてご案内させて頂いたとおり、新型コロナウイルス感染の緊急事態宣言下における会員が集まっての定例総会開催は中止とさせて頂きました。

尚、併せてご案内させて頂いた総会時にご承認頂く必要がある項目については、ホームページ及びFacebookにて周知し、ご意見ご質問が3月31日（水）迄に御座いませんでしたのでご承認頂いたものとさせて頂きました。

■2020 年度活動報告

2月22日 2020 年度定例総会

早稲田大学学生会館

8月7日 稲吟OB会会報45号発行・年会費請求

事務局

■2020 年度決算報告

2020年度(2020/1/1-2020/12/31)通常会計 決算

収入の部			支出の部			
費目	予算	決算	費目	前年度決算	予算	決算
前年度繰越金	166,571	166,571	稲吟会支援	140,000	140,000	140,000
年会費 ^{*1}	450,000	410,000	仮出金	▲ 100,000	0	0
記念大会特別会計より繰入	0	0	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000	60,000
寄付金	0	0	通信費	139,799	110,000	68,669
雑収入	0	0	会報製作費	30,500	40,000	27,690
			広報関係費	0	5,000	0
			名簿制作費	27,655	0	0
			行事関係費	86,631	70,000	25,733
			慶弔費	10,000	20,000	0
			役員会議費	0	40,000	0
			事務局経費	2,218	10,000	6,610
			関西支部支援	0	0	0
			振込手数料	1,736	2,000	2,860
			予備費	0	119,571	0
			次年度繰越金	166,571	0	245,009
合計	616,571	576,571	合計	565,110	616,571	576,571

※1:年会費 82口（前年度 89口）

65周年大会 特別会計 決算

収入の部			支出の部		
費目	予算	決算	費目	予算	決算
前大会繰越金	1,784,468	1,784,468	祝賀会費用(会場・飲食)*	1,150,000	111,000
会員賛助金	1,000,000	0	祝賀会費用(事務費等)	80,000	0
祝賀会学生負担分	45,000	0	発表大会関連費	30,000	0
寄付金	0	0	通信費	40,000	0
利息	0	10	事務費	5,000	0
			会議費	70,000	0
			対稲吟会記念品贈呈	200,000	0
			記念品(参加者・来客)	173,000	0
			振込手数料	1,000	660
			予備費	80,000	0
			次大会繰越金	1,000,468	1,672,818
合計	2,829,468	1,784,478	合計	2,829,468	1,784,478

*65周年記念大会における、祝賀会場リーガロイヤルホテルへの前払金(予約金)。開催延期のため、未使用

■2021 年度活動計画（確定しているもののみ記載）

8 月 稲吟OB会会報 46 発行・年会費請求 事務局

■2021 年度予算

2021年度(2021/1/1-2021/12/31)通常会計 予算

収入の部			支出の部		
費目	前年度決算	予算	費目	前年度決算	予算
前年度繰越金	166,571	245,009	稲吟会支援	140,000	140,000
年会費※1	410,000	400,000	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000
記念大会特別会計より繰入※2	0	0			
寄付金	0		通信費	68,669	44,000
雑収入	0		会報製作費(8月発行予定)	27,690	30,000
			広報関係費	0	0
			名簿制作費	0	0
			行事関係費	25,733	0
			慶弔費	0	20,000
			役員会議費	0	0
			事務局経費	6,610	5,000
			関西支部支援※3	0	10,000
			振込手数料	2,860	2,000
			予備費	0	334,009
			次年度繰越金	245,009	0
合計	576,571	645,009	合計	576,571	645,009

※1 会費納入80名で織込み

※2 決算での繰入額は次年度繰越金が発生しない額とする 繰入限度額は10万円とする

※3 関西支部支援は年10,000円(2021年度より)

行事関係費:現役との交流会・平成OB会開催時は予備費より支出予定

通信費:会報発送織込み

2021年度(2021/1/1-2021/12/31)特別会計 予算

収入の部			支出の部		
費目	前年度決算	予算	費目	前年度決算	予算
前年度繰越金	1,784,468	1,672,818	通常会計へ繰入		
リーガロイヤルH予約金		111,000	リーガロイヤルH予約金	111,000	
利息	10		振込手数料	660	
			次年度繰越金	1,672,818	1,783,818
合計	1,784,478	1,783,818	合計	1,784,478	1,783,818

■役員人事

(退任) 予定なし
(新任) 予定なし

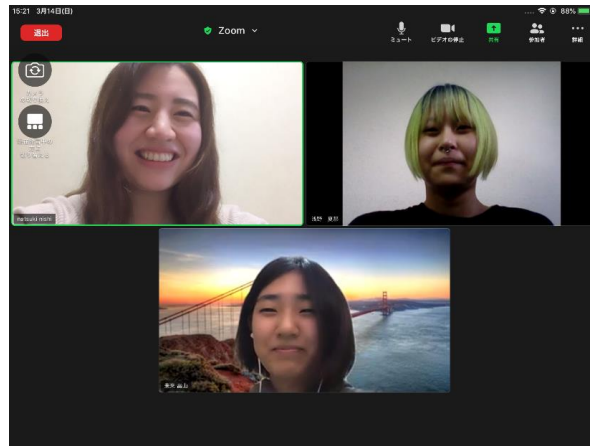
2021 年度 役員人事案

会長	松村哲郎 (S48)		
副会長	深野暢行 (S53)	二ノ宮清介 (S56) 全行事担当	澤井一樹 (H2) 関西支部長
会計監査	山田仁史(H1)		
事務局	深野暢行 事務局長	片山 俊 (H18) 会計担当	
現役担当	二ノ宮清介 (S56)	本 号(旧姓西) 奈津希 (H29)	
顧問	野中民蔵 (S40)	松岡宣夫 (S41)	藤田和夫 (S45)
	小出秀文 (S48)		

稲吟OB会現役担当報告（現役の状況）

お世話になっております。稲吟OB会現役担当の本多(旧姓 西)奈津希です。

今回、幹事長の浅野夏那さんと副幹事長の畠山未来さん2名とZoomにてお話をしましたので、ご報告させていただきます。



（上：左側 本多さん 右側 浅野さん 下：畠山さん）

①大学や部室の状況について

授業は対面式の講義も徐々に戻りつつあり、オンライン講義と半々くらいになっているようです。

部室がある学生会館は、閉館時間が20時に早まり、練習で使用している部屋は同時入室3名までと制限があるそうです。

現在は緊急事態宣言の影響で、開館日そのものが少なくなっているとのことです。

②新歓について

今年も大学構内での通常新歓はできないそうで、主にインターネット、SNS中心の勧誘になります。

大学側で公式のサークル紹介サイトを作成するそうで、稲吟会もエントリーしているとのことです。

Twitterやブログ、LINEなど発信ツールはいくつかありますが、実際に練習風景を見てもらったり、食事に行ったりすることが難しいため、入会してもらうまでかなり苦戦するのではないかと不安そうにしていました。

③発表会について

今後のコロナの状況によるところが大きいですが、周年大会として開催するのか、小規模開催か、はたまたオンライン配信か、どんな形であれ発表会を開催したい、というのが現役の考えです。

そのため、大きい会場や学生会館など、会場を確保できるよう動いているそうで、開催日時をいつにしたら良いか、と相談がありました。

周年大会の場合はOB側が祝賀会会場を押さえてから現役が発表会会場を決めておりましたが、今回は祝賀会ができるかどうかわからないため、現役主導で決めて良いのではないかと思います。

④その他（話して感じたこと）

学生会館等、これまで使用していた練習場所に制限ができてしまっているのも、せっかく部員が集まっても今まで通りの練習をするのが難しそうだと感じました。

大学の施設があまり使えないとなると、カラオケやレンタルルーム、ダンススタジオなど民間施設を利用するのもありなのかと思いますが、タダでは使えませんので学生からするとあまり現実的ではないのかもしれない。

「去年はほとんど活動ができなかったのも、会存続のためにも今年は頑張りたい」と、先が見えない中でもやる気を持って取り組んでくれているなという印象を受けました。

私もできる限りのサポートをしていきたいと思います。

以上

コロナ禍に寄せて



平成 29 年卒会
本号(旧姓 西)奈津希
本号 洋輔

こんにちは。稲吟 OB 会で現役担当を務めさせて頂いております、平成 29 年卒会の本号（旧姓 西）と申します。皆様いかがお過ごしでしょうか。

現役時代から会報に何度か名前は載ったことがあるのですが、投稿するのは今回が初めてとなりますので、私の自己紹介と近況報告をさせて頂ければと思います。

私はそもそも早稲田大学の学生ではなく、東京女子大学に通いながら稲吟会に参加する、俗にいう「インカレ生」でした。私がなぜ稲吟会に入会したのかというと、幼少期より祖母に詩吟を習っていたのがきっかけです。地元茨城にいた頃は周りに詩吟を知っている友達がほぼおらず、流行りの曲ともかけ離れた詩であったため、少し恥ずかしい習い事でした。しかし大学生になって、詩吟サークルなるものがあるらしいと聞き、同世代の詩吟仲間ができるかもしれない！と思い、活動している団体を調べました。そうして出会ったのが稲吟会です。当時の幹事長であった藍原先輩にコンタクトを取り、練習を見学させて頂いたその日のうちに入会しました。それからというもの、先輩方には本当に良く頂き、また頼もしい後輩に恵まれ、あっという間に楽しい 4 年間で過ぎていきました。また私自身詩吟経験者ということから、第 59・60 代執行部では指導幹事を務めさせて頂きました。特にこの 2 年間は、60 周年記念大会という一大イベントもありましたので、楽しいだけではなく、辛いながらも多くの学びある、とても濃い 2 年間でした。インカレ生の私にもたくさんの貴重な経験を与えて頂き、稲吟会に入会して良かったと心から思います。

さて、現在は現役担当として会に携わらせて頂いておりますが、新型コロナウイルスにより昨年からの稲吟会は思うような活動ができておらず、65 周年記念大会も開催できていない状況です。施設利用に制限がかけられ今まで通りの練習ができない、合宿も難しいという厳しい環境下ではありますが、浅野幹事長はじめ現役会員は創意工夫しながら活動を続けてくれています。私も、稲吟会を存続させ盛り上げていくことが先輩方への恩返しと思い、現役の為になにかできることはないかと模索していますが、なかなか答えは見つからず……。もどかしい思いを抱えています。前任の紺谷先輩には及びませんが、私なりに精一杯現役をサポートしていきたいと思っておりますので、ぜひ皆様からのご意見等頂けると幸いです。

また近況といたしましては、今年の 1 月に第 60 代同期の本号洋輔と入籍いたしました。社会人になってからはお会いする諸先輩方から結婚はまだか、いつになったらするのかとお尻を叩かれて（心配して

頂いて) りましたが、紆余曲折を経ましてようやくご報告する運びとなりました。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。

今まで「当たり前」や「普通」と思っていたことの有難さを痛感させられる一方、どんどん新たな社会の仕組みや常識が作られていくことと思います。そんな中で稲吟会・稲吟OB会は今後どのように存続していけば良いのでしょうか。お酒片手に語りたいと思う今日この頃です。近いうちにまた皆様とお会いできることを切に願っております。

以上

麗しの島 台湾だより



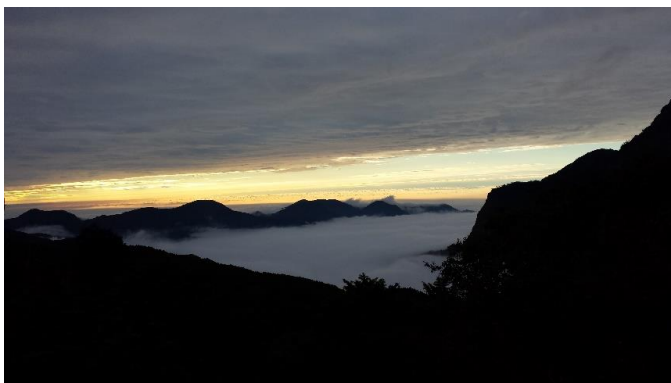
昭和 53 年卒会
如意 宗司

「いいか、台湾では『ご飯は食べたか?』が最初に言われる挨拶だ。『まだです。』と答えれば何か食べさせてくれる。喰いはぐれることはないぞ。」会社の先輩から、そんな当てにならない話を聞かされ、3カ月の中期出張辞令とともに渡ってから、早35年の月日が過ぎた。当初は鼻のまがるような匂いの「臭豆腐」を食べる人々の姿に驚き、失礼ながら、本当に分かり合える相手なのかと疑った時もあった。しかし、自分の住む地を好きになることが最も優先される仕事であると思い直し、今では台湾は文字通り私にとっての第二の故郷となっている。かの先輩の教えも満更ウソではなく、根は善良な台湾の人々のやさしさに助けられる日々は今なお続いている。

そんな私の喜びは、台湾を訪れる出張者や友人に、その魅力を伝えることだ。それは観光地巡りを急かず、台湾の人と接する機会を大切にすることに尽きるということ。人と、台湾料理と呼ばれる家庭料理が最大の観光資源である。

もし、名所を巡るのなら、日本が残した旧跡を訪ねるのがよい。(これらについては、早稲田大学教育学部の後輩でもある片倉佳史氏が研究と紹介を行っており、同氏の著作を御一読されることをお勧めする。) その中で私がお勧めする場所が、台湾中部に位置する阿里山である。日本占領時代、大正三年に完成し、今は観光用に活用される鉄道ファン垂涎の森林鉄道によって、平地に有る嘉義駅から、幽玄な雰囲気醸し出す神木のそびえる山の上に直接登ることができる。山中には「阿里山開発の父」といわれる林学者河合鈿太郎の功績を称える石碑や「樹霊塔」など日本人の足跡が数多く残る。

2017年に稲吟会同期の深野、荒川、犬飼、森戸の四君を迎え、標高2451mから御来光を仰いだことが楽しく思い出される。



(左から 本人(如意) 犬飼 深野 荒川 森戸)

ただ、阿里山は同時に日本人批判が行われる場所でもあることも覚えておかなければならない。台湾は100%の親日国だと信じて訪れる観光客は多少面食らうはずだ。これは日本が阿里山の紅ヒノキなどの大木を神社の建設の為に伐採したことによる。明治神宮や靖国神社の鳥居は阿里山から運ばれたものであるとのこと。その為、阿里山には既に樹齢2,000年といった大木は残っていないと言われる。ガイドたちはこれら搾取された歴史を伝えているのだ。

ただ、当時の林営場の人々は伐採しながらも1,000年の計を立て、森林を育てていたはずであり、私は余裕ができたなら、そうした歴史を調べるとともに、台湾観光局を通して伝えたいと考えている。

最後に、多くの稲吟OB会の諸先輩方も台湾と浅からぬ縁があることをお伝えしておく。私の周辺だけでも、移住前に教えを請い、当時日台間のビジネスを盛んに行っておられたS47年卒中部義信先輩、頻

繁に台湾に足を運ばれ、励ましてくださったS41年卒福木昌康先輩や松岡宣夫先輩。私と同様台湾に駐在し、台湾稲門会の会長も勤められたS44年卒故北村友雄先輩、その他にも多くの方々にたいへんお世話になった。

稲吟会の先輩諸氏、後輩諸君におかれては台湾にお越しになる際、面識が有るなしに関わらず、御気軽に御一報いただきたく願っている。【連絡先： 】

以上

「会員からの便り」では、OB・OGの皆様の卒会後の近況報告等を今後も掲載して行きたいと事務局では思っています。

A4用紙2枚程度にまとめて頂き、出来れば関連する写真も添えてお送り下さい。
お待ちしております。

【投稿方法】

稲吟OB会ホームページのトップページから「お問い合わせ」の「OB会行事の参加」を選び、「OB会行事に参加を希望される方について」から名簿担当までメールにてお送り下さい。
郵送の場合には会報裏表紙記載の会報発行責任者宛にお願い致します。

66 代執行部のご紹介

第 66 代執行部をご紹介します。浅野幹事長を中心に、以下のような総勢 5 名の陣容です。

■第 66 代早稲田大学稲吟会執行部

幹事長 浅野 夏那（あさの かな 教育 3）
 副幹事長 畠山 未来（はたけやま みき 文 3）
 指導幹事 浅野 夏那（あさの かな 教育 2）
 会計幹事 敷嶋 佑哉（しきしま ゆうや 教育 3）
 渉外幹事 五島 龍一（ごとう りゅういち 法 3）
 総務幹事 和田 泉（わだ いずみ 文 3）

「幹事長としての取り組み」



日頃より、現役会員に多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。
 早稲田大学稲吟会第 66 代執行部幹事長の浅野夏那と申します。

本年度の稲吟会は、コロナ禍において大人数での会食が禁止されていたので、練習の見学をメインに新歓活動を行なっていました。

昨年度は 1 名、今年度は 2 名の新入生を迎え、少人数ではありますが精力的に活動しています。
 昨年度の入会者は、詩吟と剣舞の全国大会優勝経験があり、吟詠スーパーチームに所属しています。
 今年度の入会者のうち 1 名も詩吟経験者であります。新しいメンバー 3 名中 2 名が経験者ということで、今年の学内発表会が楽しみです。

新歓後の活動としては、毎週金曜日に学生会館で練習を行なっていました。
 しかし、緊急宣言下においては学生会館が閉館してしまったので、個人でスタジオを借りて練習を行いました。例年のイベントである古典芸能サークル連盟の合同発表会である「和楽」は中止、明治大学詩吟研究部との交流会は延期となりました。
 前期の活動を締め括る納会は、練習期間が十分に確保できなかった為に中止としましたが、昨年度と今年度前期の総会はオンラインにて開催しました。

7月4日のコロムビア全国吟詠コンクール東京地区決選大会には、文化構想学部4年の河本、文学部3年の畠山、教育学部3年の浅野、聖心女子大学1年の浅井の4名で出場しました。結果は、浅野が準優勝、他3名も入賞し、全国大会出場は逃してしまいましたが、とても良い経験となりました。

今年度の学内発表会は、10月23日(土)に学生会館B201で行います。
現時点では、OBの皆様をご招待できるのか、無観客で行わなければならないのか、判断しかねる状態にあります。昨年の第65周年大会は開催することすらできずにとっても悔しい思いをしました。今年度はコロナ禍において様々な制限が課される中で、精一杯できることをやっていこうと思います。発表会に関しては追ってご連絡させていただきます。

私は、祖母が詩吟と詩舞を、母が剣舞をしている家庭で育ちました。幼い頃から祖母や母の舞台を観ていましたが、

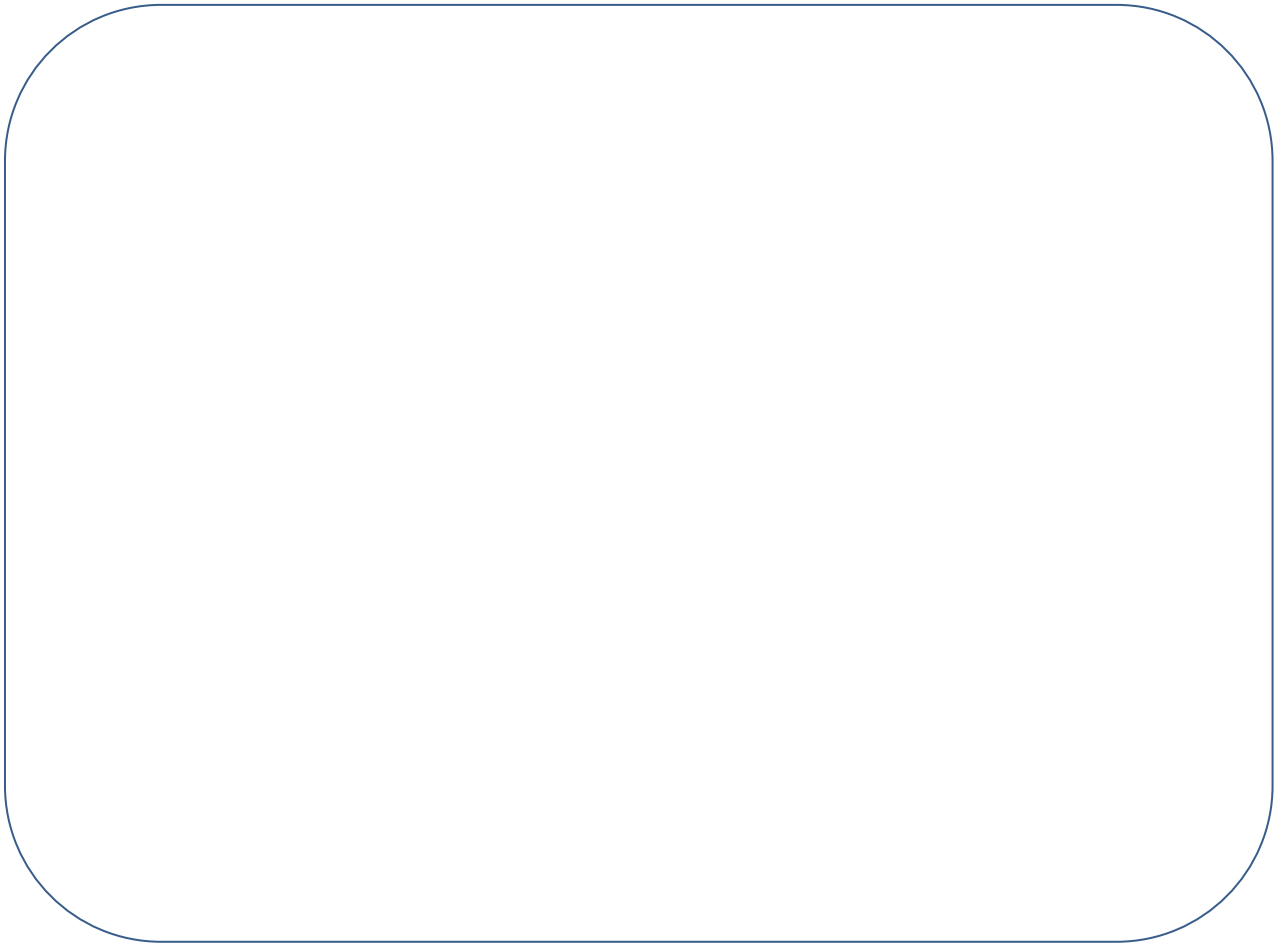
私が詩吟を始めたのは高校3年生の時です。浪人生時代も詩吟を続けており、大学でも詩吟を続けたいと思った私は稲吟会の存在を知りました。無事に早稲田大学に合格し、稲吟会の新歓に行くと個性豊かな先輩方がいて勿論すぐに入会を決めました。稲吟会に入会して、様々な人と出会い、友達が出来ました。私の青春は稲吟会にあります。幹事長として、サークルを運営する立場の人間として、稲吟会に入って良かったと思ってもらえるように活動していきたいと思います。

今回は現役会員として、私にこのような文章を書く機会を与えてくださった、稲吟会OB会会長の松村哲郎先輩に感謝を申し上げるとともに、OB会の更なる発展を願い、挨拶の結びとさせていただきます。

以上

◆◆ 事務局よりの連絡 ◆◆

会員動向（住所変更）OB会員名簿（2019 年度版）について、以下を修正ください。



新会員



住所の変更がある場合は事務局まで連絡願います！

稲吟OB会会員名簿は3年毎に改定発行しています。
前回2019年11月作成以降にOB会事務局へ連絡を頂いた会員の住所変更等は「会員動向」及び「新会員」のとおりです。
2019年11月現在の会員名簿、本会報の「会員動向」「新会員」をご確認頂き、変更・訂正がありましたらOB会事務局までご連絡願います。

OB会事務局へのご連絡方法：

稲吟会ホームページ (<http://www.togin.org/>) から「稲吟OB会」を選んで頂き、「早稲田大学稲吟OB会」画面の「お問い合わせ」項目から「住所等の変更」を選択して頂くと事務局宛へのメール画面になります。変更・訂正の内容を記載の上お送りください。

訃 報

心よりお悔やみを申し上げます。

年会費の納入にご協力ください

会員の皆様には年会費（5,000円）の納入をお願いしております。卒業後3年間は4,000円です。まだお支払いでない方は下記の口座にお納めください。恐れ入りますが振込手数料はご負担ください。会費納入実績につきましては、稲吟OB会事務局会計担当（kaikei@togin.org）まで。

口座名 早稲田大学稲吟OB会 振替 00150-7-61740
《他の金融機関からの振込の場合…》
ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）、店番 019、
店名 〇一九（ゼロイチキユウ）店、預金種別 当座、
口座番号 0061740、受取人名 ワセダダイガクトウギンOB カイ
年会費 5,000円

OB会関係行事への参加申し込み方法について

OB会関係行事の開催につきましては、ハガキ・稲吟OB会ホームページ・【公式】稲吟OB会コミュニティ（Facebook）でご案内していますが、現在ハガキ送付を行っていない方で行事参加を希望する場合は下記の方法で事務局までお願い致します。

#以下の Facebook 又はホームページをご利用ください。

- ・ Facebook : 【公式】稲吟 OB 会コミュニティ
- ・ ホームページ : 稲吟OB会ホームページ <http://www.togin.org/>

#Facebook・ホームページから行事参加を申し込みする場合の方法

- ・ Facebook 「【公式】稲吟 OB 会コミュニティ」 から参加を希望する場合
Facebook コメント欄で「参加希望」をコメントする。
- ・ 稲吟OB会ホームページ から参加を希望する場合
「トップ」画面の「お問い合わせ」項目から「OB 会行事の参加」を選択し「参加希望」をメールする。



発行：2021（令和3）年8月12日
発行者：早稲田大学稲吟OB会事務局

編集発行責任者：深野暢行（稲吟OB会事務局）
早稲田大学稲吟OB会会報 通巻第46号

稲吟会ホームページ <http://www.togin.org/>
稲吟OB会 <http://www.togin.org/alumni/> 稲吟会 <http://www.togin.org/toginkai/>